

「第3回“本気”で語ろう会」 会議録

団体名	JTNM 実行委員会（人生楽しんでなんぼのもんじゃい！）
日 時	平成 26 年 7 月 15 日（火）19 時 00 分から 20 時 50 分まで
場 所	バイク王国・プラグポイント
参加者	JTNM 実行委員会（谷本久雄様外 12 名）
	市長、副市長、市長公室長、商工観光課長、広報広聴課長

1 J T N Mについて

提案：まず、最初に私たちの考え方をお話したい。

JTNM は、様々なアウトドアの方々が集まっているが、それを個人の楽しみに留めず、これを鹿屋・大隅全体の宝物として、交流人口を増やすメニューの一つとして考えていきたい。その地に住んでいると何が魅力なのか分かりにくいですが、転勤等で離れてみると魅力を思い出すので、そういった意味でも市外の人に自然体験等していただけるようなメニュー開発が必要だと考えている。

また、新幹線などで都会から来る人たちの流れを考えると、垂水が玄関。宿泊地として鹿屋が本丸。そしてパラグライダーや海のレジャーなどの遊びを考えると南大隅などの各地域が奥座敷と考えられる。鹿屋を中心とした大隅地域は噛めば噛むほど味が出ると思うので、また、来てもらえるようなメニューや仕掛けを大隅全体で考えることが大切。

2 大隅湖の活用について

提案：大隅湖がない頃は、笠野原台地は不毛の地であったが、高隈ダムの整備により緑豊かな実りの地となった。

この大隅湖の使われ方について、以前は「あじさい祭り」や年間を通した貸ボートもあったが、現在は「大隅湖レイクサイドフェスティバル」だけになっている。こんなにいい素材があるのに、もったいない。

一方で、周りを走ると道路が悪いことに気づくが、市外から遊びに来た人に話を聞くと、湖が臭いという話も聞く。このことから、まずは、湖の浚渫（しゅんせつ）や道路、桜並木などの基本整備。その後に遊漁船や護岸道路使用の条例改正。最後に、キャンプ場の整備。シーカヤック・カヌー・水上バイクの使用や護岸道路を使ったサイクリング。市内の花火を一本化した大隅湖での花火大会の開催などのアクティビティ。そういったことを検討して、大隅湖を使っていただきたい。

回答：大隅湖の利活用について、具体的な提案をいただいた。大隅湖については、笠野原土地改良区が管理しているので、管理者との調整が必要であり、今は限られた利用しかされていないが、大切な財産だと考えている。県のカピックセンターや市の民族村といった素晴らしい施設もあるので、そういったものと一体となった利活用を考える必要がある。

今後については、高隈にコミュニティ協議会を作り、この中で大隅湖の利活用に

ついてしっかりした位置づけをして、アイデアを1つずつ具体的にしていかなければならない。花火については、せっかく合併したので大きく1つにという考え方もあるが、会場の規模の問題や、それぞれの故郷に対する郷土愛というものもあるので、そういったイベントの一本化は難しい面もある。

また、湖の浚渫についてはなかなか手に負えない部分があるが、2020年の国体で大隅湖でのボート競技も決まっているので、国に工事と併せて浚渫もお願いしている。

大隅湖の整備・観光については、具体的な話があれば、各種団体との調整や許認可、市のサポートなどを進めさせていただきながら、調整させていただきたい。

3 高隈登山に係る整備等について

提案：昔知人が、新燃岳が登れない時期に高隈登山に来たが、有名な山ではないものの素晴らしいと感動していた。高隈は自然が素晴らしいので、これを残しながら整備し、もっと外にアピールをしないといけない。

そのために、メインの登山道の整備。トイレの設置。けが人用のヘリポートの設置。鹿屋側や垂水側から縦走した際の送迎バス・タクシーの補助。ネイチャーガイドの育成。駐車場などの整備による新コースの検討。トレイルランへの取組などを提案するので、高隈登山に対する各種整備や取組をお願いしたい。

回答：高隈は私も鹿屋の宝と考えており、実は7月11日には、地域資源の高隈山を有効に活用するために「たかくまフロンティア会議」を開催した。高隈山には、色々な方に登ってほしいが、上級者向けや中級者向けなど各コースがある中で、すべてを縦走するのは難しいし、それぞれにあった登山の提案や、施設の整備、ガイドの育成も必要である。トイレについては今年の4月に一基設置した。

この会議の中で、高隈山の整備などについて検討していくが、この秋にはデモツアーを計画しており、来年からはソフトやハードもやっていきたい。一過性のものでなく、色々なルート開発も含めて中長期的にやっていきたいと考えているので、ぜひ皆さんの声も聴かせていただいて、高隈フロンティア会議の中で反映できるものは、そのようにさせていただきたい。

その上で、高隈の自然はしっかり残しながら、高隈の魅力を皆様にも味わっていただけるような施策に取り組みたい。

4 バイクミーティングについて

提案：バイクは高速など使って、どこにでも行けるのが特徴であるが、その便利性を生かしてライダーたちを呼んで何かできないかなと考えている。

年に1度のライダーズバイカーズミーティングというのがあるが、3日間開催され、8,000台から9,000台。人にして10,000人くらい集まる。経済効果でいえば、年によって違うが、2億から8億円ほどのようである。

このミーティングをぜひ鹿児島でやれば、日本全国から人が集まり経済効果も期待できるが、何年か越しで計画せねばならず、敷地も2ha以上ないとできないのでこちらでは難しい。そう考えると、まずは、300台から500台くらいのハーレー等によるミーティングを考えているので、市の共催・協力や敷地の提供などをお願いできないだろうか。

回答：最初から大規模なものは難しいが、そういった話があれば応援はしたい。また、会場については、数百台であれば学校跡地や大隅湖のレイクサイドの駐車場でできるのではないかと。

もし、ハーレーとかが何百台も来れば、交通渋滞などは発生しないのか。

提案：交通マナーは良いので渋滞は起こりづらい。また、会場では夜8時以降はエンジン等の音を出したらいけない決まりになっており、出店している方も9時には閉める。

回答：私共も含めて、市民の皆さんもハーレーがどんなもので、どんな音がするのかも分からないので、まずは小さな会場からやっていって、市民の皆さんとも交流をしながら理解してもらい、一緒に楽しんでいけば盛り上がるのではないかと思います。

提案：例えば、何月かかのやのバラがいいということで、時期を決めて数百台規模のミーティングが行えれば良いと思う。スタッフは自分たちでするので、市には共催になってもらい、もし何か使える補助金等あれば教えていただければそれで十分なので、開催場所も含めて今後検討していただければと思う。

5 ディスクゴルフについて

提案：鹿屋にも霧島ヶ丘公園にディスクゴルフ場があるが、拡張が終わっておらず、伐採木がコース内に置かれたままである。そこにマムシ等の危険な生き物も住み着いているらしいので、伐採木を早急に撤去していただきたい。

また、受付の場所が公園の管理事務所にあるので、コース入口の東屋を受付として、ディスク貸出等していただきたい。

それから、以前は体育大と市と協会及びクラブ個人でイベントをしていたが、その時には教育委員会から活動資金として補助をいただいていた。この補助を再開していただきたい。

最後に、コースが大きくなれば県外からも人が来るので、公式戦レベルで開催できるほどのコースの開設をお願いしたい。

次にマウンテンバイクのコースについて、霧島ヶ丘公園へのアクセス道として、野里、大始良、浜田・高須の方からループ状に、オフロードのコースを設置してほしい。

回答：最近は色々な方々がスポーツを楽しんでおり、競技人口が増えることで団体がしっかりしてくると、行政と色々取り組みやすくなる。

話のあったコースの伐採木については、すぐに対応する。コースを広げることは別としても今のコースを市民の皆さんに安全・安心に使っていただいて、ディスクゴルフを知っていただきたい。県内でも専用であるという意味で貴重な施設なので、きちんと施設の整備を行い市民の皆さんにも使ってもらって裾野を広げていき、少しずつ大きな大会が実施できるようになればと考えている。

6 カヤックやカヌー場の整備等について

提案：大隅湖か輝北ダムの、カヤックやカヌーのレジャーでの乗り入れを認めてほしい。競技では認めているのにレジャーは認められないとなっているので、こういう条件であれば許可しますといったルールを作っていただきたい。

次に、大隅湖でのドラゴンレースの復活について、大隅湖であれば、5艇6艇同時にスタートができるので検討していただきたい。

次に、カヤック・カヌー場の整備について、始良川で練習をしているが、河川敷の草が生え放題なので、整備していただきたい。

次に、元国体の選手もいるので、そういった方に講習会をお願いしてインストラクターを養成していただきたい。

次に、肝属川クリーン作戦について、清掃の一環として、川下りをしながら実施できないか検討していただきたい。

最後に、カヤック・自転車・マラソンを同時に行う競技を大隅湖で実施できないか、検討していただきたい。

なお、グリーンカントリーについても災害にあって使えないということだが、キャンピングとして整備・利用できないか検討していただきたい。

回答：色々な提案をいただいたが、出来そうなものもあれば難しいものもある。大隅湖の利用については、許可の関係で皆が使えないようなので、利用調整ができるのか管理者（土地改良区）と話をしてみたい。

また、肝属川についても、まずは川の浄化をして、みんなが川で楽しめるようにしたいと考えている。

大隅湖というのは色々な楽しみ方があると思うので、高隈の再生や大隅湖のレクリエーション基地としての活用を高隈のコミュニティ協議会や地域でも検討していただいて、出来ることから実施していきたい。皆さんのような先駆者の地道な積み重ねと、ボランティアを含めた地域の方々のサポートが大切なので、小さく生んで大きく育てるという気持ちで、色々皆さんの体験されている楽しみ方を教えてほしい。市の職員も色々な趣味を持っている人がいるので、一緒になって盛り上げて行けたらと思う。

7 アームレスリングについて

提案：最初は夏祭りのイベントで、エクササイズの一環としてアームレスリングを始めたが、その後、色々な大会が行われ参加するようになった。鹿屋市の防災マップを見たら腕の形をしていることに気づき、「まちおこし」にも使えるかなと思った。市民の方々にもアームレスリングを知っていただき参加してほしいので、ぜひ鹿屋で大会を開きたい。地元に強い選手も揃っているので、物産館などで開ければ、他地域の選手相手にお土産も売れると思う。

回答：夏祭りや秋祭りなど色々なイベントがあるので、そういったイベントと一緒にやれば、市民へのアピールにもなり参加者も増えるのではないかと思うので、相談していただきたい。